

2026 年 4 月 1 日

履正社高等学校

校長 篠岡 正和

2026 年度 履正社高等学校 部活動（学藝コース）に関わる活動方針

～学びのたのしさと自主性を育む部活動～

本校の部活動は、生徒たちが心身ともに健やかに成長し、充実した高校生活を送るための大切な教育活動です。私たちは、生徒一人ひとりが学びのたのしさを実感し、自身の自主性を発揮できる場として部活動を位置づけ、以下の活動方針を定めます。

1. 基本方針

部活動は、教科の学習と並ぶ「もう一つの学びの場」です。生徒が自らの興味・関心に基づき、仲間と共に目標に向かって努力する中で、技術・技能の向上だけでなく、豊かな人間性、社会性、そして自己を律する力を育むことを目指します。

2. 活動時間・休養日

生徒の心身の健康と学業との両立を最優先とし、以下の基準を設けます。

(1) 平日

- * 活動日：原則として、月曜日、水曜日、木曜日とします。
- * 活動時間：15 時 35 分から 17 時 05 分までの 90 分間を基本としています。
長時間の活動にならないよう計画的に行います。
- * 完全下校時刻：原則として 19 時 30 分です。

(2) 休日（日曜日・祝日）

- * 月・水・木の週 3 回の活動が基本となります。但し、大会直前や必要に応じて、土曜日や休日にも活動することがあります。その際の活動時間は 4 時間程度としています。
- * 長期休暇中：通常時を基本としつつ、長期休暇期間の特性を考慮した計画とします。学校閉庁日や年末年始は原則として活動を行いません。

3. 活動内容と学びのたのしさ、自主的な学び

生徒が主体的に活動し、深い学びとたのしさを実感できるような運営を心がけます。

- * 知的好奇心の追求と探究：各部活動において、生徒が自身の興味に基づき、テーマ設定から実践、検証、発表までの一連のプロセスを経験できる機会を設けます。自らの「なぜ？」を追求する中で、知的な喜びを感じられるように工夫をします。
- * 自ら考え、行動する力の育成：顧問は、単に指導するだけでなく、生徒が自ら課題を見つけ、解決策を考

え、実行する自主的な学びを尊重します。活動計画の立案、役割分担、課題解決のための話し合いなど、生徒が中心となって活動を進める場面を積極的に設けます。

- * 多様な成功体験と成長の実感：大会での勝利や作品の完成といった大きな成果だけでなく、できなかったことができるようになる過程、仲間と協力して困難を乗り越える経験など、日々の小さな成長にも目を向け、達成感を共有します。この積み重ねが、生徒の自己肯定感と次なる挑戦への意欲を育みます。
- * 仲間との協働と対話：異なる個性を持つ仲間と共に活動する中で、コミュニケーション能力や協調性を高めます。互いに協力し、目標を達成する喜びは、かけがえのない経験となります。

4. 部活動と学習の両立

生徒が学習活動も疎かにせず、部活動と学業の相乗効果が得られるよう配慮します。

- * 定期考査1週間前からは原則として活動を停止し、学業に専念できる時間を確保します。
- * 顧問は、生徒の学習状況を把握し、必要に応じて学習指導に関する助言を行います。

5. 顧問と保護者との連携

生徒の健全な活動のため、顧問と保護者が密に連携し、情報共有を行います。

- * 部活動の活動方針や計画について、保護者への説明機会を設けます。
- * 生徒の活動状況や体調について、定期的に連絡を取り、連携を図ります。

6. その他

- * 本方針は、社会情勢や生徒の実態に応じて、柔軟に見直しを行います。
- * 生徒一人ひとりが部活動を通じて、「やってよかった」「たのしかった」と思える充実した高校生活を送れるよう、学校全体で支援していきます。

特記：吹奏楽部の活動は、強化クラブ活動方針に準じます。

チアリーディング部の活動は、一部、強化クラブ活動方針に準じます。